

分野：自然への愛着

(夏休み前の動植物観察)

環境アドバイザー

荒木 三郎

対象 上尾市立上平小学校 他2校(25人)

所要時間



2時間

場所 三つ又沼ビオトープ

実施時期

令和3年7月17日

概要

- 三つ又沼ビオトープ、荒川の草花を育てようプロジェクトに参加している3校環境委員会活動を行っている、5、6年生と家族が参加し学校の交流を兼ねる。
- 環境委員会で育てた荒川の植物がどんな場所で、どのように育っているか確認。
- 家族と三つ又沼ビオトープの動植物観察

プログラムの
ねらい

- 3校合同の子供たちと家族の自然観察交流会
- 荒川の草花を育てようプロジェクトで自分たちが育てた草花が、自然と共生しているか見ていただく。他にどんな動植物がいるか、お楽しみです。
- 自分たちの委員会活動を家族の人と楽しんでいただくことが出来ればいいな。

プログラムの内容

1 オリエンテーション(30分)

- 3校の紹介 委員会活動の紹介
- これからの観察工程の説明 移植地・緑の回廊・池周辺・ハンノキ移植地
- 危険動物の注意事項 ヘビ・ハチ・ムシなど
- 熱中症対策、水筒の水飲みタイムを作ります

2 動植物の観察 夏休みの自由研究の題材を探そう

- 荒川の草花を移植し育てている場所の観察を行う
植物の解説 絶滅危惧種 花や種についても
- 哺乳類の足跡探し、フィールドサイン
タヌキ・イタチ・イノシシ・シカ・アライグマ
- 沼の生き物探し
トンボ類、外来のカメ、絶滅危惧種のドブガイ



受講者の反応

- 本来なら4校合同の交流会を行い、観察会を行う予定でしたが、まだコロナ禍のなかでしたが、子供たちは学校から離れて他校と仲良くなり、親たちも動植物の観察を通じて交流を深めていた印象がありました。
- 子供たちは植物より、生きた昆虫や沼のドブガイの重いものにはビックリしていました、究極な生き物、ヘビのヒバカリを見つけ全員で観察することができ大満足でした、子供たちから秋に4校交流観察会ができたらの声が多くありました。



荒川の草花移植地とハンノキ観察

